

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【公開番号】特開2014-206046(P2014-206046A)

【公開日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-159206(P2014-159206)

【国際特許分類】

E 04 F 11/18 (2006.01)

【F I】

E 04 F 11/18

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月23日(2015.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の手すり装置は、複数の柱と、前記複数の柱の間に架設された手すりと、前記複数の柱の上方に設けられ、天井面に押し当てられる天井面押当部と、前記複数の柱の下方に設けられ、床面に押し当てられる床面押当部と、前記柱、前記天井面押当部および前記床面押当部に、天井面および床面に対する突張力を発生させる縦突張力発生手段と、を有する、壁面に沿って設置された手すり構造体を備え、さらに、前記複数の柱のうち、何れかの柱又は全ての柱からそれぞれ側方へ延出して壁面に対して略垂直に設けられた横軸材と、前記横軸材の端部に設けられ、壁面に押し当てられる壁面押当部と、前記壁面押当部を壁面に押し当てるための壁面押当手段と、を備え、前記手すり構造体は、対向した2つの壁面に沿ってそれぞれ設置され、前記2つの壁面に沿ってそれぞれ設置された前記手すり構造体の柱同士の間にそれぞれ横架材が前記2つの壁面間に形成される通路を横切って架設された、ことを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の手すり装置は、複数の柱と、前記複数の柱の間に架設された手すりと、を有する手すり構造体を備え、該手すり構造体が対向した2つの壁面に沿ってそれぞれ設置された、ものであって、さらに、前記複数の柱のうち、何れかの柱又は全ての柱からそれぞれ側方へ延出して壁面に対して略垂直に設けられた横軸材と、前記横軸材の端部に設けられ、前記壁面に押し当てられる壁面押当部と、前記壁面押当部を壁面に押し当てるための壁面押当手段と、を備える。そして、前記2つの壁面に沿ってそれぞれ設置された前記手すり構造体の柱同士の間にそれぞれ横架材が前記2つの壁面間に形成される通路を横切って架設された、ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

- | | |
|-------|----------|
| 1 B | 手すり装置 |
| 1 D | 手すり装置 |
| 2 | 手すり構造体 |
| 2 A | 手すり構造体 |
| 3 | 横軸材 |
| 4 | 壁面押当部 |
| 5 | 壁面押当手段 |
| 6 | 柱 |
| 7 | 手すり |
| 8 | 天井面押当部 |
| 1 0 | 床面押当部 |
| 1 0 A | 床面押当部 |
| 1 1 | 縦突張力発生手段 |
| 2 5 | 天井面 |
| 2 7 | 床面 |
| 3 0 | 壁面 |
| 3 6 | 通路 |
| 4 1 | 横架材 |